

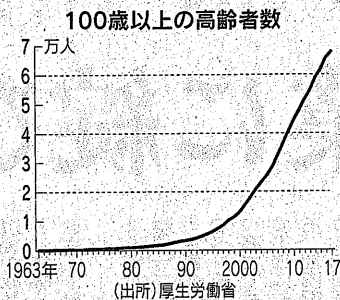
10/15

だんだんと現実味を帯びてきた「人生100年時代」を見据え、消費者ニーズを探る動きが出てきた。美容、金融、教育、住宅……。超長寿が当たり前になれば、人々が求める商品やサービスも大きく変わるはず。そんな変化をにらんだ「事業シフト」の模索が始まりつつある。

神戸市にある神戸大学医学部付属病院の美容外科診療科。美容外科という若い女性をイメージするが、この患者は31%が60歳以上、70歳以上も14%を占める。「心の年齢と容顔のかけ離れが気がつく患者さんが増えて

「人生100年時代」事業シフト探る

保険▼長寿リスク想定 大学▼学び直しに的



いる」と診療科長の「瀬見洋氏は話す。今後は100歳までのアンチエイジングの需要が伸びるとみており、10歳を境に作成中だ。「歳をと

い」と診療科長の「瀬見洋氏は話す。今後は100歳までのアンチエイジングの需要が伸びるとみており、10歳を境に作成中だ。「歳をと



人生100年を想定した金融商品や自治体の取り組みも広がってきた

16年の日本人の平均寿命は女性87歳、男性80歳。女性が4年連続、男性は5年連続で過去最高を更新した。女性は4人に1人が95歳まで、男性は4人に1人が90歳まで生きる。医療の発展で健康な人も増え、生活を謳歌する人も増えている。

100歳まで生きるといとも決して珍しくない。統計を取り始めた1966

3年はわずか1533人だったが、17年は約6万8000人。国立社会保障・人口問題研究所の推計では50年には50万人を超える。超長寿社会の到来は様々な新しいニーズを生み出しつつある。

「こんなに売れるとは思わなかった」。日本生命保険の神山亮弘・商品開発課長は驚きを隠さない。16年に発売した終身年金プラン「エイジ」は、死亡時の保険金や解約時の返戻金は少ないものの、生きていく間は多め

の年金をもらえらる「長生きリスク」に備える保険だ。発売後1年余りで契約約4万5千件を突破した。「長い人生を子どもに頼らず過ごそう」という意識が強まっている」と神山課長は話す。

超長寿に備えて学び直したい人に向けた取り組みも出てきた。早稲田大学は10月から、東京・日本橋のキャンパスで「WASEDA NEO」という会員制マウンテンを開設した。最先端のビジネス動向を学び、他分野のリーダーと交流できる拠点だ。年会費は10万円。主に定年後のシニアが集う「エクステンション

センター」もあるが、NEOは現役世代を中心に据える。「人生が長くなると、仕事をしながら学び直す需要が高まっている」（鈴木啓太・社会人教育事業課長）

寿命が延びれば住む場所の確保も不安になる。マンション管理を手掛ける伊藤忠アーバンコミュニケーションズ（東京）は施業「ライオン研究会」を開催している。修繕セミナーなどを開き、高齢化への対応を促すと同時に「安心して長く暮らせる物件をつくりたい」という。

超長寿への対応は官でも進む。神奈川県は「人

生100歳時代の設計図」を掲げ、セミナーやシンポジウムを開催し、中高年の起業などを後押ししている。「若い世代が生き方について考えるきっかけになれば」（神奈川県）。政府も首相が議長を務める「人生100年時代構想会議」を9月に発足させた。

英経済学者リンドン・グラットン氏は著書「ライフ・シフト」の中で日本で14年に生まれた子どもの半数は109歳まで生きるという推計を紹介している。そんな時代に生きる人たちのニーズをすくい上げる動きが広がりをうた。 (福山絵里子)

生100歳時代の設計図」を掲げ、セミナーやシンポジウムを開催し、中高年の起業などを後押ししている。「若い世代が生き方について考えるきっかけになれば」（神奈川県）。政府も首相が議長を務める「人生100年時代構想会議」を9月に発足させた。

英経済学者リンドン・グラットン氏は著書「ライフ・シフト」の中で日本で14年に生まれた子どもの半数は109歳まで生きるという推計を紹介している。そんな時代に生きる人たちのニーズをすくい上げる動きが広がりをうた。 (福山絵里子)

生100歳時代の設計図」を掲げ、セミナーやシンポジウムを開催し、中高年の起業などを後押ししている。「若い世代が生き方について考えるきっかけになれば」（神奈川県）。政府も首相が議長を務める「人生100年時代構想会議」を9月に発足させた。

英経済学者リンドン・グラットン氏は著書「ライフ・シフト」の中で日本で14年に生まれた子どもの半数は109歳まで生きるという推計を紹介している。そんな時代に生きる人たちのニーズをすくい上げる動きが広がりをうた。 (福山絵里子)